

平成 29 年度 第 2 回 行政改革推進委員会 議事録（要旨）

1 日 時 平成 29 年 7 月 24 日（月） 15 時 30 分～17 時 40 分

2 場 所 糸島市役所 本庁舎本館 3 階 庁議室

3 出 欠

(1) 出席者

（委 員）村藤会長、徳田副会長、渡邊委員、石川委員、井上委員、岩井委員、山崎委員、
大城委員、十時委員、中野委員、林委員、藤原委員、南委員

（事務局）馬場部長、市丸課長、久我係長、西原主査

(2) 欠席者

（委 員）廣川委員

(3) 傍聴者 なし

4 会議結果

【会議次第】

1 会長あいさつ

2 協議

（1）平成 29 年度糸島市外部点検報告書（案）について

（2）平成 29 年度外部点検制度の総括について

（3）糸島市補助金交付の基本指針（案）について

3 その他

【議事概要】

協議

（1）平成 29 年度糸島市外部点検報告書（案）について

事務局より外部点検報告書（案）について説明し、質問・意見等協議に入る。

【p1～3（はじめに、外部点検概要）について】

意見等なし

【p4～6（自主財源確保の点検結果）について】

意見等なし

【p7～9（学校教育環境充実の点検結果）について】

A 委員

・点検の中では、p7 の小中学校扇風機設置事業は H28 年度で終了し、H29 年度からは p8 の小中学校普通教室空調設備整備事業へ切り替えるという話だったと思う。このこと

を扇風機設置事業の概要欄に記載しておいた方がよいのではないかと。

会長

- ・確かに、扇風機の設置は H28 年度までで完了しており、今後は空調設備の整備を行うという説明があったと記憶している。
- ・扇風機設置事業の概要欄に「H28 年度で完了」と、空調設備整備事業の概要欄に「H29 年度に設置」と記載することでよろしいかと。

各委員了承

B 委員

- ・点検結果欄の【点検対話での全体意見】と【点検員の個人意見（見直し・改善に関するもの）】との差は何か。重きが置かれるというか、市側が動くきっかけとなるのはどちらか。全体意見ならば、個人意見から全体意見へ移した方がよいものがないかという視点での確認が必要になるので。

事務局

- ・【全体意見】は、点検当日のホワイトボードのまとめを基に記載しており、委員会としての総意、オフィシャルな意見。【個人意見】は、点検シートをもとに記載しており、対話の中で出なかったものも含まれる。
- ・市側としては、全体意見を委員会のオフィシャルな意見、方向性の示唆として受け止め、全体意見を中心に改善の方向性を検討する予定である。個人意見は、委員会で共有したオフィシャルなものではないという整理で、アイデア的な意見として全体意見とはレベル感が異なるものとして受け止める。

会長

- ・それは、少し違うような気がする。個人意見の中にも市側にわかっていたきたい意見が複数ある。全体意見は、点検当日にコーディネーターが記載したホワイトボードの内容で、総論的というか点検当日の対話の流れを記載したものになっている。ホワイトボードに記載されていないところでも、色々な意見があったと思う。

事務局

- ・そのとおりである。しかし、点検当日には、ホワイトボードに記載された以外の意見を全体意見にすべきかどうかまで確認できていないので、今日のこの場で、全体意見にすべきかどうかを協議いただきたい。

会長

- ・点検員の個人意見は、委員会の意見だと思う。全体で合意したもののみが委員会の意見ではなくて、委員が発言した意見で特に反対意見が出なければ、委員会の意見である。市側の受け止め方として、全体意見は尊重するが個人意見はそうでもないということになるのは、違和感がある。全体意見はみんな合意したものということでは、抽象的で中身としての濃度が薄い意見になりがちである。個人意見の方がより具体的で、強く言いたい部分も個人意見の中にある。

A 委員

- ・建前と本音で表現するならば、全体意見は建前、個人意見は本音だと思う。本音の中に一番言いたいことが表れているのではないかと。事務局の説明のように全体意見と個人意見を分けるのは、あまり好ましくないように思う。個人意見も委員会の意見とし

て提言する部分になってくると思う。

B委員

- ・全体意見は、当日の議論の流れ、概要をストーリー的に記載されたものとなっている。全体意見で当日の議論を踏まえ、個人意見の部分で具体的な意見が記載されているので、個人意見をオフィシャルなものではないという整理にせず、どちらも委員会の意見として取り扱ってよいと思う。反対意見が出なかったものは委員会の意見でよいと思う。

C委員

- ・全体と個人に分けるのがよくないと思う。どちらも委員会の意見として取り扱ってよいと思う。

D委員

- ・「点検対話での全体意見」を「施策の方向性の示唆」に、「点検員の個人意見（見直し・改善に関するもの）」を「見直し・改善に関する意見」に修正し、両方とも委員会の意見として位置付ければよいのではないか。

A委員

- ・同じ意見である。

事務局

- ・個人意見の位置付けに関して、先ほどの事務局の説明が悪かった。個人意見はオフィシャルではないということではなく、個人意見も含めて改善策の検討に活用させていただく。外部点検は、様々な視点で施策推進に関してご意見をいただく場だと認識している。見る視点は色々あり、それらを吸収していかなければと思っている。

会長

- ・では、全体意見と個人意見という見出しを修正し、どちらも委員会の意見とすることでよろしいか。

各委員了承

B委員

- ・p8の全体意見の中で、「学校別の状況がわかる「カルテ」のようなものやその一覧表を見せてもらえば」とあるが、カルテや一覧表という具体的な表現となっており、ここはストーリーを記載する部分となるため、具体的すぎるのではという違和感がある。

会長

- ・「学校別の状況がわかる情報を見せてもらえば」としてはどうか。

各委員了承

B委員

- ・p9の中段に「学校の統廃合など公共施設マネジメントの視点」とあるが、学校の統廃合は、公共施設マネジメントの範疇に入るのか。

事務局

- ・入る。糸島市では公共施設マネジメントの中で、統廃合についても検討することとしている。

E委員

- ・方向性の示唆部分と見直し・改善意見部分をリンクさせると、報告書を読む方にもよ

りわかりやすいと思う。見直し・改善意見が羅列してある感じなので、この意見は方向性の示唆ではこの部分にリンクするというのをわかるように書くとよいのでは。

会長

- ・確かにそのとおりだと思うが、見直し・改善意見が全て方向性の示唆のどこかにリンクしているかということ、そうでもない意見も見受けられる。きちんとリンクさせるのは、簡単ではないと思う。

F 委員

- ・見直し・改善意見が箇条書きになっているが、その順番を整理した方がよいと思う。

会長

- ・事務局では、どういう順番で並べているのか。

C 委員

- ・施策を構成する事務事業の順番と同じになっていると思う。

事務局

- ・基本的には、まず施策全体に関する意見、次に施策を構成する個別の事務事業に関する意見を事務事業の順番と同じ順番で記載している。しかし、複数の事務事業に関して同様の意見だった場合、まとめて記載している。方向性の示唆とリンクさせるのがよいとは思いますが、なかなか上手に整理できなかった。力不足で申し訳ない。

会長

- ・事務局でも色々と考えて案を作成しているようだが、順番に関して、どういうふうに入れ替えたらいだろうか。意見はないか。

F 委員

- ・3つ目の意見「・教育施設全体の…」を「・学校施設大規模改造事業について…」の前に入れるとよいと思う。そうすると、施策全体の話として成果指標、優先順位、予算の話があって、次に個別の事務事業の話として、食器・机椅子の入替、施設改修、空調設備、理科設備、トイレ改修と順番になり、よいのではないか。

会長

- ・では、そのように順番を入れ替えることでよろしいか。

各委員了承

A 委員

- ・p9の最後にある「・空調設備整備やトイレ改修は、その効果、やってよかったというプラスの結果をしっかりと市民へ伝えることが大切だと思う。」という意見だが、空調設備やトイレ改修に限定しているところに違和感がある。効果やプラスの結果を市民へ伝えることは、どの事業にも共通で大切だと思う。

C 委員

- ・この意見は、最近新聞などでも学校の空調設備の整備率が取り上げられており、福岡市は高い整備率である。それと比較して、糸島市も福岡市並みになったということをもっとPRしてはどうか、そして市民にも認識してもらった方がよいのではという意見なのだと思う。

G 委員

- ・どの事業においてもその効果を市民に伝えることは大切だと思うが、この部分は個人

意見をベースに記載しているのだから、このままでもよいと思う。

F 委員

・例えば「空調設備整備やトイレ改修も含め事業の効果」と修正する方法もある。

E 委員

・他の事業にも共通する内容という点は同感だが、この意見は、特に空調設備整備やトイレ改修についての意見なのだから、このままでよいと思う。

会長

・意見はあるが、この部分はこのままでよろしいか。

各委員了承

【p10～12（高齢者支援の点検結果）について】

B 委員

・p12の個人意見の部分の並べ替えについて、施策全体にかかる意見は「・成果指標は累積だけでなく...」と「・情報発信は地域単位で行い...」と「施策の成果指標として...」だと思う。その他を個別事業の順番で並べ替えればよいのではと思う。

会長

・個人意見の部分は、3つの点検施策全てについて、まず施策、次に個別の事務事業となるよう、並べ替えを事務局に行っていただきたい。

事務局了承

D 委員

・点検シートに記載していなかったかもしれないが、対話の中で発言したので、「地域包括支援センター運営事業の成果指標として、重度化を抑制した人の数を加えてはどうか」という意見を追加してほしい。

会長

・確かに、その発言はあった。追加を事務局にお願いする。

事務局了承

B 委員

・p12の「PTAの方などにも活動が広がればよい」という部分だが、PTAに少し違和感がある。これからは見守りが必要な高齢者の周辺の人だけでなく、次の世代の人も含めたもっと地域全体の人に広がってほしいという意図だと思う。

事務局

・例えば「次世代を含む地域全体の方など」と修正する方法もある。

会長

・そのように修正することでよろしいか。

各委員了承

【p13～14（おわりに）について】

E 委員

・p13の3つ目の視点の部分だが、「適切な指標の設定を期待する」はキャッチの付け方としてわかりにくいと感じる。報告書を読む側は、読み飛ばしてしまうのではないかと

思う。もっと具体的に、例えば「アウトカム基準の指標設定を期待する」などに修正した方がよいのではないか。

会長

- ・全てをアウトカム基準の指標にするのが最善と思うが、困難なものもあり、その場合はアウトプット基準の指標も許容せざるを得ないと思う。「適切な指標」という表現でよいと思う。

E 委員

- ・了解した。

F 委員

- ・3つの施策を通して、広報活動が足りないという感じを受けた。4つ目の視点に、広報活動を充実してほしいという内容を加えた方がよいと思う。
- ・3つ目の視点はそのとおりだと思うが、ロジックがしっかり整理されていないとアウトカム基準の指標は設定できないと思う。いきなりアウトプット、アウトカムの話ではなく、まずはロジックモデルをしっかり作成することが大事という意見も入れてほしい。例えば「全庁でロジックモデルの考え方を再確認してほしい」など。

会長

- ・4つ目の視点に広報活動のことを加えたいという意見だが、具体的にはどのような文章か。

F 委員

- ・例えば「入手可能な媒体を使って市民にできるだけ多く広報するように期待する」など。

A 委員

- ・「入手可能な媒体」というのは、なかなか難しいと思う。市が行う広報の代表的なものは月2回発行の広報紙と市ホームページだと思うが、広報紙は紙面の制約もあり短い文章となり全てを伝えることは困難で、市ホームページは私もそうだが高齢者などはなかなか見ないという現状があると思う。
- ・市民に、この行革推進委員会や外部点検を傍聴してもらい、認識してもらおうということも大切だと思う。

事務局

- ・この行革推進委員会に限らず、様々な事務事業の成果を幅広く市民へ情報発信した方がよいという意見だと思う。報告書案では「可視化（見ることができること）し」という文章でその意味合いを出しているつもりだが、より具体的に「様々な媒体を使って情報発信、広報する」という文章を加えた方がよいということか。

F 委員

- ・昨年度と今年度の外部点検を通じて、市民が行政の活動・努力を知らないことが多いと感じた。行政側は、もっとたくさん広報活動をした方がよいと思う。広報活動の機会を増やすことが必要と思う。
- ・4つ目の視点には、「書き方、話し方、見せ方などを工夫」とあり、広報の作り方については述べられているが、広報という「活動」を増やすという部分がないのが気になった。機会を増やし広報活動をもっとしっかりやってほしいという内容も加えたい。

B委員

- ・媒体というよりも機会の話ならば、アウトリーチ、こちらから出向くということが重要だと思う。例えばPTA総会に出向いて話をするなど、行政側が地域に出向いて、市民へ伝えることが必要だと思う。

H委員

- ・行政がわかりやすく市民へ情報を伝える努力をしていることはよくわかるが、市民には見えにくいのが実感としてあるので、地域に出向くなど、わかりやすく市民へ情報を伝えることをより一層進めてほしいという内容を加えた方がよいと思う。

B委員

- ・情報発信に関して、これからは、コミュニティ、校区や行政区などの力を借りることが大事だと思う。行政だけで全てを伝えることは困難だから、校区のホームページを活用するなどコミュニティの力を活用することが重要だと思う。

会長

- ・では、「広報活動を通じてわかりやすく伝えてほしい」という趣旨の文章を追加することでよろしいか。

各委員了承

会長

- ・ロジックモデルの話を追加したいという意見についてはどうか。

B委員

- ・1つ目の視点に追加したらよいと思う。

会長

- ・では、「インプット - アウトプット - アウトカムのつながりを考えたロジックモデルを施策ごとに考えてほしい」という趣旨の文章を追加することでよろしいか。

各委員了承

B委員

- ・「アウトカム」という表現が複数箇所出てくるので、定義というか概念というか、使い方の整理をしてほしい。

事務局了承

会長

- ・報告書案について複数の修正をすることとなったが、修正後の確認は会長である私に一任していただくということでよろしいか。

各委員了承

(2)平成29年度外部点検制度の総括について

事務局より外部点検制度の改善点等について意見交換したい旨を説明し、協議に入る。

会長

- ・まず、点検施策の選定方法について、ご意見等はあるか。

B委員

- ・今年度の選定は、会議は開かず、各点検員で点検したい施策に順番付けを行い、事務局で集計し決定する形だった。昨年度は、会議を開いたので、自分以外の点検員がど

という視点・理由で点検施策を選んでいるのかがわかる形だった。会議を開いて選定する方がよいかなと思う。

E 委員

- ・糸島を変えたい、変わってほしいと思い、行革推進委員を務めている。点検施策選定は、点検員が集まって、意見を出しながら選定する方がよい。

会長

- ・糸島市は施策が 66 個もあるので、66 個の中から直接、行革推進委員会が選ぶのは困難だと思う。市側で 10 数個位まで絞ってもらい、そこから行革推進委員会が選定するのが現実的だと思う。

D 委員

- ・昨年度の選定のやり方、各点検員が自分の点検したい施策とその理由を発言し、他の人の意見も聴いたうえで、協議して決めるというやり方がよいと思う。

会長

- ・選定の際は、点検員が集まった方が他の人の意見も聴きながら選べるので、その方がよいだろう。

会長

- ・次に、点検会議当日に点検員のみで行う 30 分間の論点整理の時間について、ご意見等はあるか。

D 委員

- ・30 分間は、ちょうどよい時間だと思う。

G 委員

- ・同じく、ちょうどよいと思う。

B 委員

- ・30 分間の論点整理がウォーミングアップとなって、本番である点検対話に入っていける。30 分位が適切だと思う。

会長

- ・次に、点検シートについて、ご意見等はあるか。

事務局

- ・点検シートは、事務局で回収しているが、点検員同士で共有したいなどの意見はあるか。報告書案を検討いただく際に、共有しておいた方がよいなどあれば、聞かせてほしい。

A 委員

- ・特段、共有の必要性は感じていない。
- ・点検シートを記入する時間がもう少し、あと 5 分程度ほしい。

B 委員

- ・点検シートを記入する時間は、コーディネーターが担当課から当日の感想などの発言を促す時間となっているが、会話の内容が点検施策に関係するものだったりするので、そちらを聞きたいとも思う。会話が行われている中で記入するのは、正直に言うと、なかなか大変だ。

会長

- ・他に、外部点検全般について、ご意見等はあるか。

F 委員

- ・点検を受ける職員側は、評価というより意見・アイデアをもらいたいと思っている部分もあると思う。外部点検は担当課からの相談の場であるという意識を点検員側も持つことが大事だと思う。評価するだけでなく、課題解決のために一緒に考える場になりたい。課題が何かを必ず聞くようにしたい。

A 委員

- ・担当課には、何に困っているかを言ってほしい。外部点検は一緒に考える場であることを担当課に再度周知しておいてほしい。

F 委員

- ・外部点検報告書を行革推進委員会で作成し市側へ提出した後、改善・見直しや変化はどうか。外部点検を受けて、改善・見直しにつながったかがとても大切な部分だと思う。

事務局

- ・報告書を受けて、改善・見直しの対応方針を検討している。その後、実際にどう改善・見直しされたかは、経過を追っていくこととしている。

(3) 糸島市補助金交付の基本指針(案)について

事務局より基本指針(案)について説明し、質問・意見等協議に入る。

B 委員

- ・交付金は、この指針の対象か。

事務局

- ・交付金は、対象外である。この指針は、補助金のみを対象としている。

会長

- ・p6 に団体運営補助は政策的事業補助へ切り替えるという方針があるが、事業ごとにしか補助金がもらえなくなるとやっていけなくなる公的団体があるのではないかと心配する面もある。公的団体は、その目的が公益的であり、市民のために良い活動を行っているものが多いと思う。そのような団体がなくなると、困るのではないか。団体運営補助を事業補助へ切り替える団体とは、具体的にどんな団体か。

事務局

- ・社会福祉協議会、商工会、観光協会などである。事業補助に切り替えても、団体運営が成り立たなくなるものはないと想定している。

B 委員

- ・この指針に基づいて補助金見直しを行うと、全体で相当な額の減額になるのか。

事務局

- ・金額的には、そんなに大きな額にはならないと想定している。
- ・団体運営補助を事業補助へ切り替えるという方針は、合併前から打ち出しているものである。団体が存在するから補助するのではなく、団体が良い事業をするから補助するという考え方である。

会長

- ・事業補助に切り替えることで有益な団体が運営できなくなるということであれば、よいと思う。

C 委員

- ・市民まつりにも補助金を交付していると思うが、p7の「特に、大会やイベント等の開催に対する補助は、本来、団体等の自主財源で大会やイベント等を実施するものであり、補助金なしで開催しているものも多いため、公平性確保及び自立促進の観点から、補助の必要性を十分に検討する。」という方針について、市民まつりも自主財源で実施すべきものとするのか。

事務局

- ・市民まつりは、多くの市民が参加する全市的なまつりであり、公益性が他のイベントと比較しても高いと判断している。まつり出店者から出店料を徴収したり、市民等から寄附を募ったり、自主財源の確保にも取り組んでいる。公平性の確保や自立促進はできていると現段階では判断しているので、市民まつり補助金を廃止するとは考えていない。ただし、市民まつり補助金は実施計画事業であるため、3年ごとに検証し、そこでも判断する。

B 委員

- ・市民まつり補助金は実行委員会に交付しているので、団体補助ではなく事業補助と考えてよいか。

事務局

- ・よい。事業補助と整理している。

会長

- ・p5に「全ての補助について、3年以内の補助期間を設定し」とあるが、3年を越えて継続的に交付する補助金はないのか。

事務局

- ・そういう意味ではない。「期間終了以降に継続する場合は」とあるように、検証を3年ごとに行うという意味である。

B 委員

- ・何を検証するのか。

事務局

- ・補助金の成果や団体の運営状況などである。

B 委員

- ・誰が検証するのか。行政内部か、外部か。

事務局

- ・行政内部での検証を想定している。補助金は多種多様なものがあり、一定期間で見直しが必要なものや継続的に交付する必要があるものなど様々である。効果を検証して、補助金の必要性をしっかりと見極めたい。

会長

- ・3年という期間だが、市の他の事業は3年で検証しているのか。

事務局

- ・実施計画事業は、3年を一区切りと考えて検証している。

事務局

- ・補助金について、補助目的や成果が明確でなく、検証をせずに前例踏襲的に交付することが良くないので、そこを改善するために3年区切りを設けて、検証を行うこととした。

A委員

- ・3年以内の補助期間となっているが、2年や1年もあり得るのか。

事務局

- ・あり得る。

会長

- ・この基本指針は、いつから導入されるのか。

事務局

- ・平成30年度予算から反映させる。

B委員

- ・対象となる補助金交付団体数は、全部でどれくらいか。

事務局

- ・団体数は把握していないが、補助金の数としては205ある。

事務局

- ・できる限り短期間で改革したいと考えている。補助金は、相手方があるものなので、平成30年度予算に全て反映は難しいかもしれないが、平成31年度予算では全て反映させる予定である。

会長

- ・改革前後で、金額を比較した数字はあるか。

事務局

- ・まだない。金額的には、大きな差額は出ないと思っている。
- ・今回の見直しは、補助金の成果を市民の皆さんにきちんと見える形にしていくことを大きな目的としている。

事務局

- ・今回の見直しは、金額を減らすことが目的ではない。補助目的、用途、成果等を明らかにし、補助金の有効性を向上させるためである。改革が徐々に効果を発揮する形になってほしい。その結果、金額的にも効果が表れてくると思う。

B委員

- ・きちんと良い事業を実施している団体が増えることが望まれる。

事務局

- ・団体に良い事業をやってもらい、そこに補助金を交付していくことで有効性を向上させ、市の施策推進につなげていきたい。

B委員

- ・今回の見直しは現在ある補助金の対象だと思うが、これをきっかけに、団体、市民側から事業の提案があり、それに補助する形の補助金が増えていけばよいと思う。そういう提案型の補助金制度はあるのか。

C委員

・現在も、そういう制度はある。

事務局

・市民提案型まちづくり補助金という制度がある。

会長

・では、補助金交付の基本指針案については、妥当と判断してよろしいか。

各委員了承

【協議終了】